



写真: デンヨーベトナム

2015年3月期 決算説明会

2015年5月20日

デンヨー株式会社

目 次

I . 2015年3月期決算の概要

取締役常務執行役員管理部門長 白 鳥 昌 一

II . 2016年3月期通期の見通しと今後の経営方針

代表取締役社長 古 賀 繁

2015年3月期 決算概要

2015年3月期実績ハイライト(連結)

ポイント

連結売上高、経常利益、当期純利益は過去最高を更新。

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	49,832	100%	52,267	100%	2,435	4.9%
営業利益	※5,407	10.9%	5,348	10.2%	△59	△1.1%
経常利益	※5,723	11.5%	5,757	11.0%	34	0.6%
当期純利益	※3,725	7.5%	3,857	7.4%	132	3.5%
設備投資	2,453		2,531		78	3.2%
減価償却費	837		999		162	19.4%
1株当り当期純利益	※165.2円		179.4円		14.2円	8.6%
R O E	※9.1%		8.6%			
1株当り年間配当金	24.0円		28.0円			

※ 会計方針を変更しております。

製品別売上高の動向(連結)

概況

1. 発電機は 1,838百万円(4.8%)の増加。
2. 溶接機は 293百万円(5.6%)の増加。
3. コンプレッサは133百万円(13.4%)の増加。

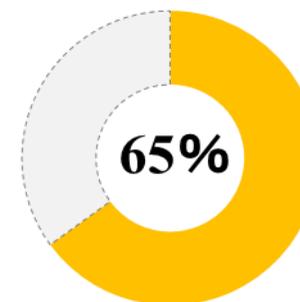
(単位:百万円)

		2014年3月期		2015年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		49,832	100%	52,267	100%	2,435	4.9%
製品別	発電機	38,241	76.7%	40,079	76.7%	1,838	4.8%
	溶接機	5,263	10.6%	5,556	10.6%	293	5.6%
	コンプレッサ	993	2.0%	1,126	2.2%	133	13.4%
	その他	5,334	10.7%	5,504	10.5%	170	3.2%

エンジン発電機(連結)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比 増減率
発電機	38,241 百万円	40,079 百万円	4.8%

- 国内は、大手リース・レンタル業界向けの出荷が増加。
電源車の売上も増加。
LPガスを燃料とする非常用発電機の出荷が減少。
- 海外は、北米及び中東市場向けが好調。



可搬式エンジン発電機の国内シェア

※当社調べによる(5年平均)



可搬式発電機



防災用発電機

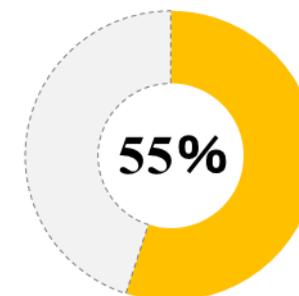
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬式発電機
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機(定置型)
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車など

エンジン溶接機(連結)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比 増減率
溶 接 機	5,263 ^{百万円}	5,556 ^{百万円}	5.6%

- 国内は、小型溶接機の出荷が増加。
- 海外は、北米向けが増加。



エンジン溶接機の国内シェア
※当社調べによる(5年平均)



エンジン溶接機

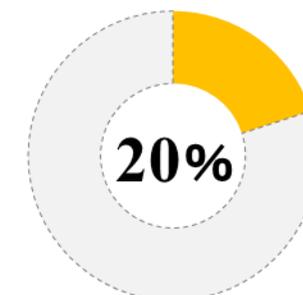
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、
およびTIG溶接機、CO2溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

エンジンコンプレッサ(連結)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比 増減率
コンプレッサ	993 ^{百万円}	1,126 ^{百万円}	13.4%

- 国内はリース・レンタル業界向けに出荷が増加。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる(5年平均)



エンジンコンプレッサー



モーターコンプレッサー

吐出空気量1.6^{m³/min}から42.4^{m³/min}まで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など

そ の 他(連結)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比 増減率
そ の 他	5,334 ^{百万円}	5,504 ^{百万円}	3.2%

- 高所作業車などの出荷が増加。

その他の売上

- 高所作業車
- 高圧水洗浄機
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車

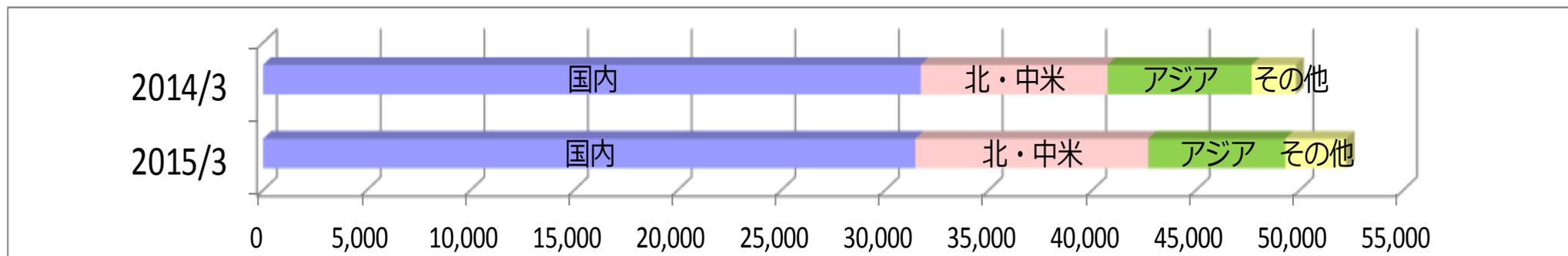


高圧洗浄機

地域別売上高の動向(連結)

(単位:百万円)

		2014年3月期		2015年3月期		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		49,832	100%	52,267	100%	2,435	4.9%
国内売上高		31,727	63.7%	31,468	60.2%	△ 259	△0.8%
海外売上高		18,104	36.3%	20,799	39.8%	2,695	14.9%
地域別	北・中米	9,007	18.1%	11,234	21.5%	2,227	24.7%
	アジア	6,959	14.0%	6,619	12.7%	△ 340	△4.9%
	その他	2,137	4.3%	2,945	5.6%	808	37.8%



営業利益増減の要因分析

営業利益減

- ・ 国内の高収益製品の出荷減少が影響。

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比増減
営業利益	※5,407	5,348	△59
営業利益率(%)	※10.9%	10.2%	△0.7ポイント

	2014年3月期	2015年3月期	前期比増減
売上総利益率	※26.0%	25.1%	△0.9ポイント
売上高販管費比率	※15.1%	14.9%	△0.2ポイント
売上高営業利益率	※10.9%	10.2%	△0.7ポイント

- ・ 売上総利益率は、国内は高収益製品の出荷減少や原材料価格の上昇で悪化、海外はデンヨーベトナムの稼働率安定、米国での利鞘改善などで改善。
- ・ 売上高販管費比率は、諸引当金の戻入等もあり改善。

連結貸借対照表

概要

1. 流動資産 2,230百万円の増加は、主に現預金及び在庫の増加によるもの。
2. 固定資産 3,577百万円の増加は、主にベトナム工場(第二期工事)に伴うもの。

(単位:百万円)

	2014年3月 期末	2015年3月 期末	前期末比 増減額
流動資産	38,626	40,856	2,230
固定資産	※22,891	26,468	3,577
資産合計	※61,518	67,324	5,806
流動負債	※12,837	13,396	559
固定負債	※4,357	4,732	375
負債合計	※17,194	18,128	934
純資産合計	※44,323	49,195	4,872
負債純資産合計	※61,518	67,324	5,806

※ 会計方針を変更しております。

連結キャッシュ・フローの推移

概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー5,078百万円。主に当期純利益による増加。
2. 現金及び現金同等物の残高は944百万円増加。

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,356	5,078
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,776	△ 2,642
I + II フリー・キャッシュ・フロー	580	2,436
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,510	△ 1,788
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	241	297
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 688	944
VI 現金及び現金同等物の期末残高	9,831	10,776

2016年3月期の見通しと 今後の経営方針

2016年3月期予想～連結損益の見通し

ポイント

1. 売上高は、550億円を予想。
2. 為替レートは110円/ドルを想定。

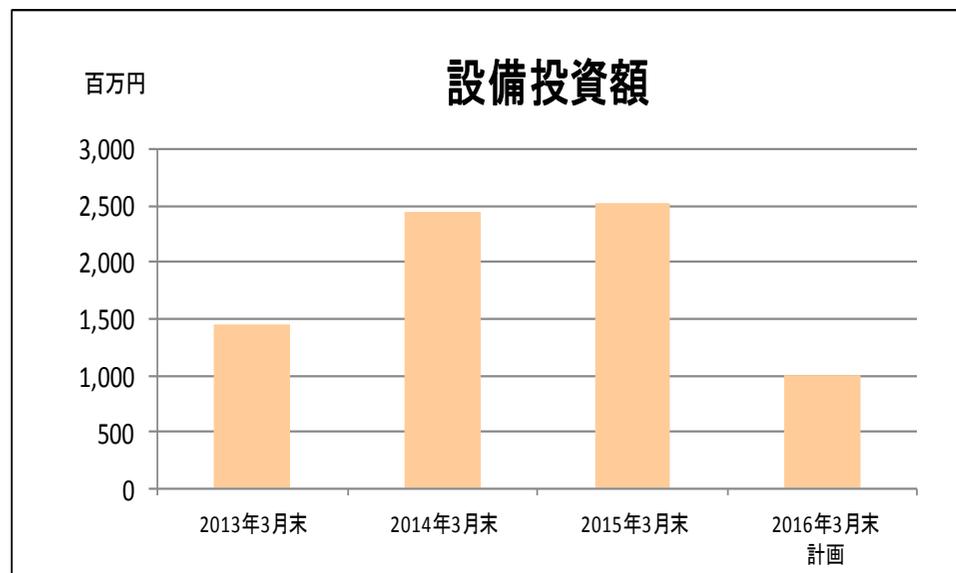
(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	52,267	100%	55,000	100%	2,733	5.2%
営業利益	5,348	10.2%	5,500	10.0%	152	2.8%
経常利益	5,757	11.0%	5,800	10.5%	43	0.7%
当期純利益	3,857	7.4%	3,600	6.5%	△ 257	△ 6.7%
設備投資	2,531		1,000		△ 1,531	△ 60.5%
減価償却費	999		1,380		381	38.1%
1株当り当期純利益	179.4円		168.5円		△ 10.9円	
R O E	8.6%		7.3%			
1株当り配当金(円)	28.0円		28.0円			

設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末 計画
設備費	1,457	2,453	2,531	1,000
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・開発研修センター 814 ・福井機械等 150 ・アメリカ工場 237 ・ベトナム工場 127 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 480 ・西日本発電機 270 ・ベトナム工場 440 ・シンガポール 1100 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 440 ・西日本発電機 160 ・アメリカ工場 50 ・ベトナム工場 1630 ・シンガポール 180 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井機械等 500 ・滋賀機械等 200 ・西日本発電機 100 ・その他 200



デンヨーベトナム

製品別売上高の見通し(連結)

概況

1. 発電機は、2,021百万円(5.0%)の増加。
2. 溶接機は、144百万円(2.6%)の増加。
3. コンプレッサは、274百万円(24.3%)の増加。

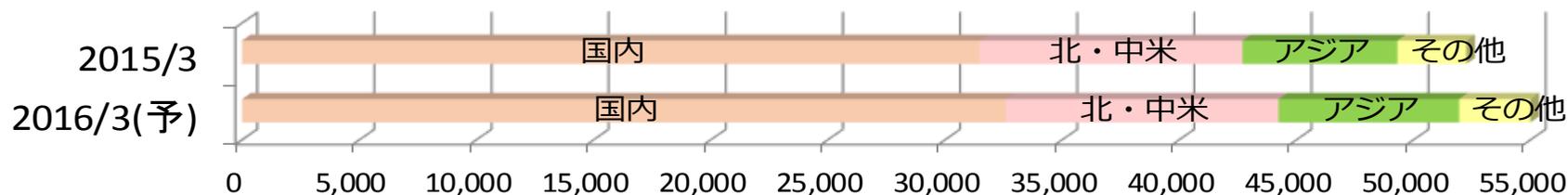
(単位:百万円)

		2015年3月期		2016年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		52,267	100%	55,000	100%	2,733	5.2%
製品別	発電機	40,079	76.7%	42,100	76.5%	2,021	5.0%
	溶接機	5,556	10.6%	5,700	10.4%	144	2.6%
	コンプレッサ	1,126	2.2%	1,400	2.5%	274	24.3%
	その他	5,504	10.5%	5,800	10.5%	296	5.4%

地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2015年3月期		2016年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		52,267	100%	55,000	100%	2,733	5.2%
国内売上高		31,468	60.2%	32,600	59.3%	1,132	3.6%
海外売上高		20,799	39.8%	22,400	40.7%	1,601	7.7%
地域別	北・中米	11,234	21.5%	11,650	21.2%	416	3.7%
	アジア	6,619	12.7%	7,700	14.0%	1,081	16.3%
	その他	2,945	5.6%	3,050	5.5%	105	3.6%



営業利益予想の内容

営業利益増

営業利益率は若干低下、営業利益は152百万円の増加と予想。

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期(予)	前期比
営業利益	5,348	5,500	152
営業利益率(%)	10.2%	10.0%	△ 0.2ポイント

	2015年3月期	2016年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	25.1%	25.5%	0.4ポイント
売上高販管費比率	14.9%	15.5%	0.6ポイント
売上高営業利益率	10.2%	10.0%	△ 0.2ポイント

売上総利益率は国内の高収益品の出荷増により改善を見込む。
売上高販管費比率は、減価償却費、人件費等の増加を見込む。

今後の経営方針

経営理念：パワーソースをテーマに安全性・経済性・環境性重視の製品造りに
徹し、「**三者の得**」を追求。
(使う人、売る人、造る人が各々利益を享受すること。)



経営戦略：

- ①パワーソースのパイオニアとして、技術力と販売のネットワークを駆使し、高性能発電機マーケットのナンバーワンを目指す。
- ②発電機の周辺事業の拡充。
- ③新規関連事業への参入。

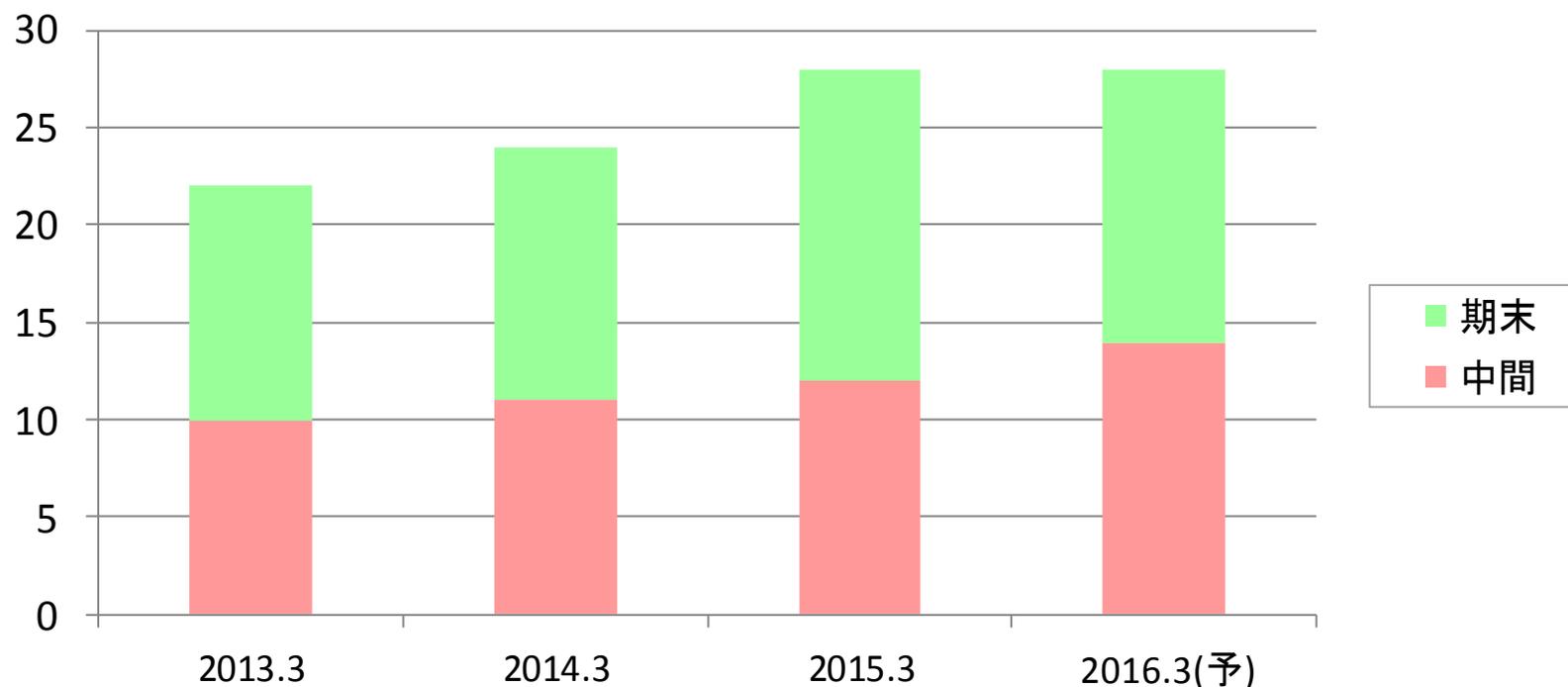
目標経営指標：

- ①ROE 8%以上 (2015.3期8.6%)
- ②売上高経常利益率 12%以上 (同11.0%)

利益配分の方針

利益配分：収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元を充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 14年3月期 24円 ⇒ 15年3月期 28円 ⇒ 16年3月期 28円予想)



今後の事業戦略

ポイント

- ・ 建設関連以外の市場向け製品の拡充
- ・ 環境対応型製品の開発
- ・ 海外事業戦略の強化



エコベース発電機



極超低騒音型電源車

建設関連以外の
市場向け製品の拡充



防災用・非常用発電機事業の拡充
電源車の拡販

環境対応型製品の開発



エコベース(環境保護ベース) 標準
装備の発電機・溶接機をシリーズ化
し、環境対応へ貢献

海外事業戦略の強化



- ・ アメリカ、アジア、欧州市場の
バランスの取れた販売
- ・ 旺盛なアジア市場に対応すべく
ベトナム工場での完成品製造を開始

見通しに関する注意事項

この資料には、2015年5月11日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

当社のIRに関するお問い合わせ先

トザワ
経営企画室 兔沢・後藤

電話：03-6861-1178

FAX：03-6861-1185

參考資料

当社の概要

エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワーソースのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電機溶接機材株式会社」として設立
昭和34年 我が国初のエンジン溶接機を開発、発売
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始
昭和41年 防音型開発
デンヨー株式会社に社名変更
昭和58年 東証二部上場
平成12年 東証一部上場

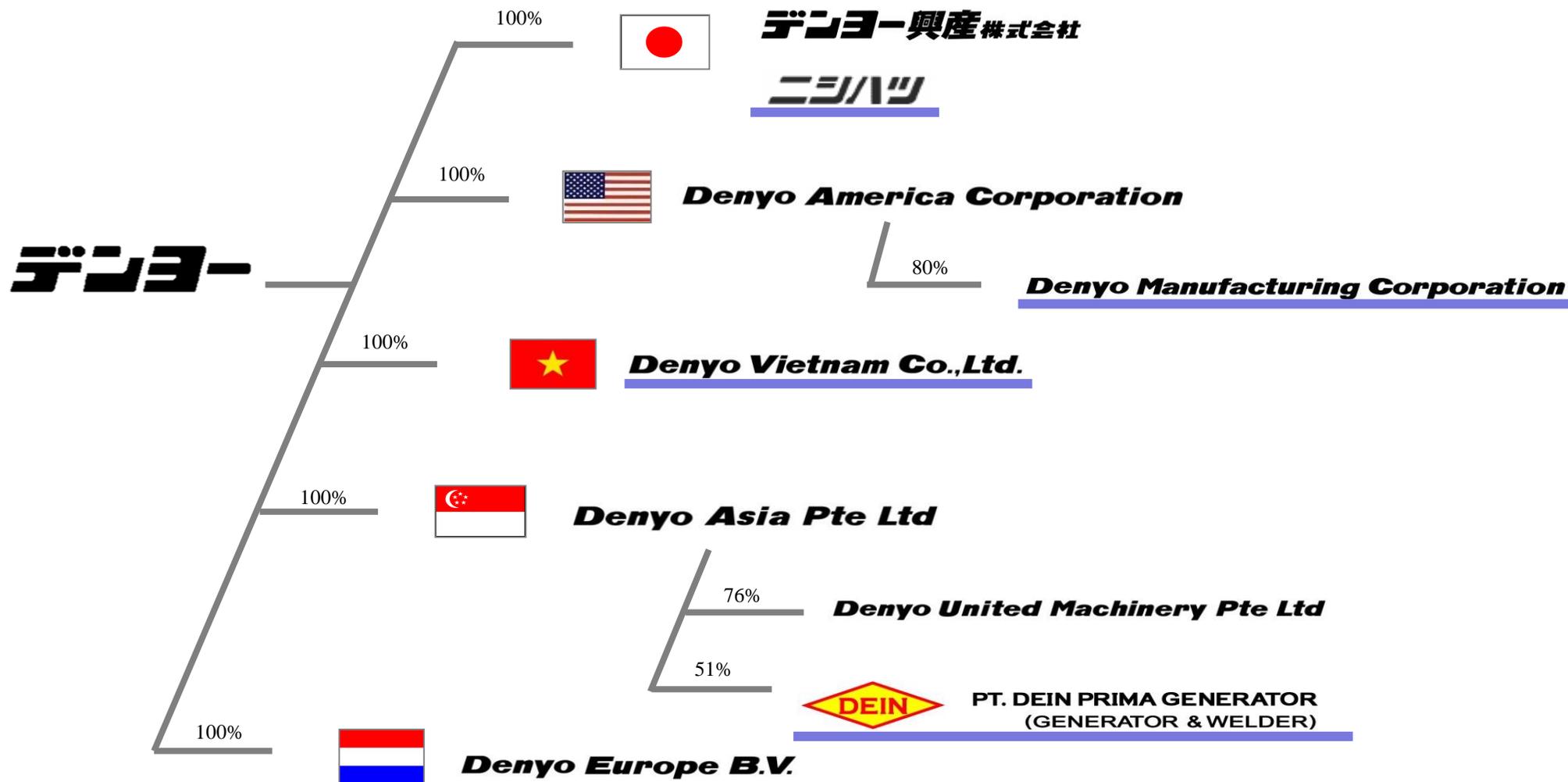
● 会社規模など（2015/3期・連結ベース）（単位：百万円）

売上高	52,267
うち海外売上高	20,799
経常利益	5,757
当期純利益	3,857
総資産	67,324
純資産	49,195
時価総額（3/31時点）	41,010
従業員数	1,121人



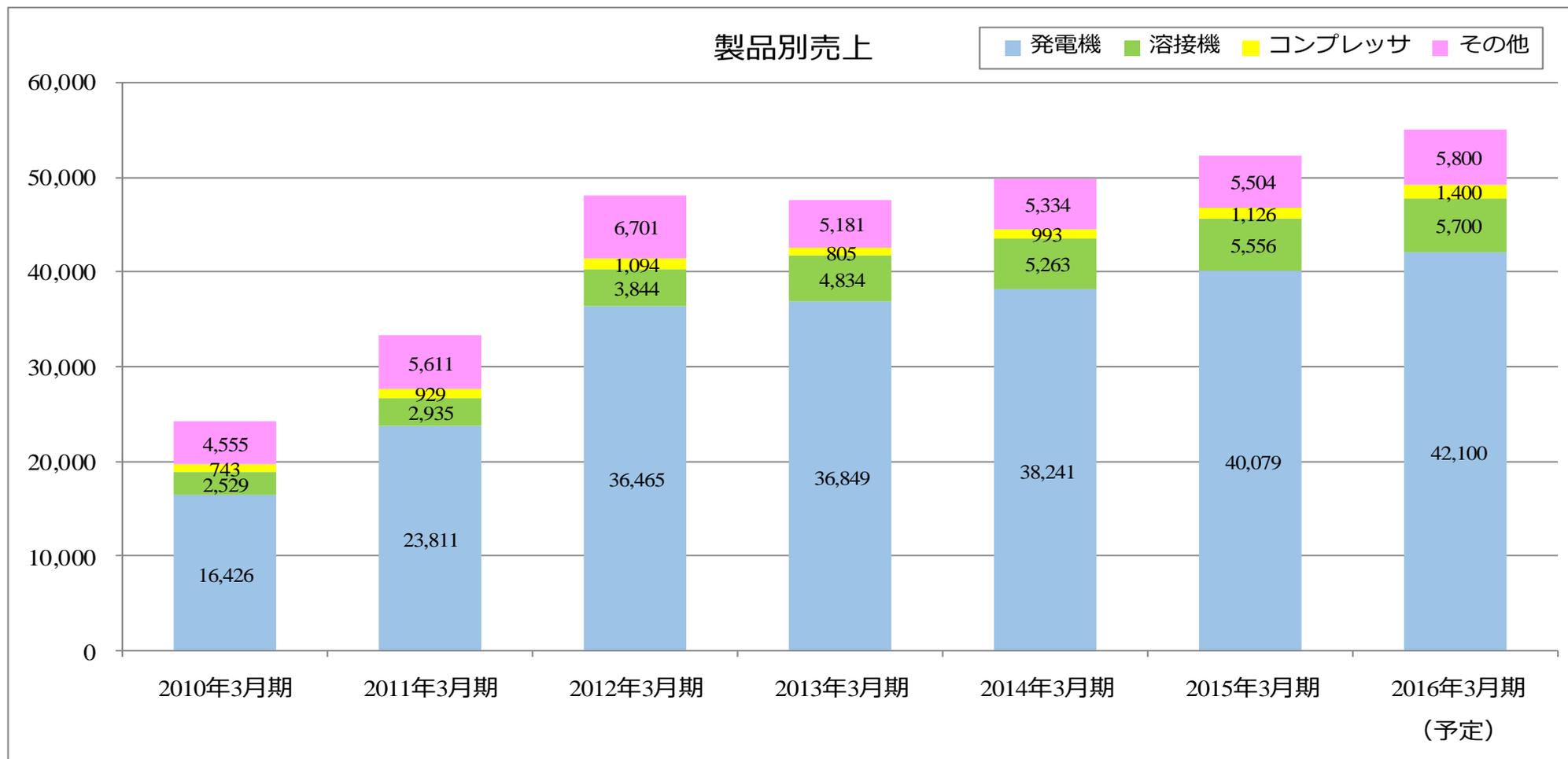
本社（日本橋堀留町）

グループ会社

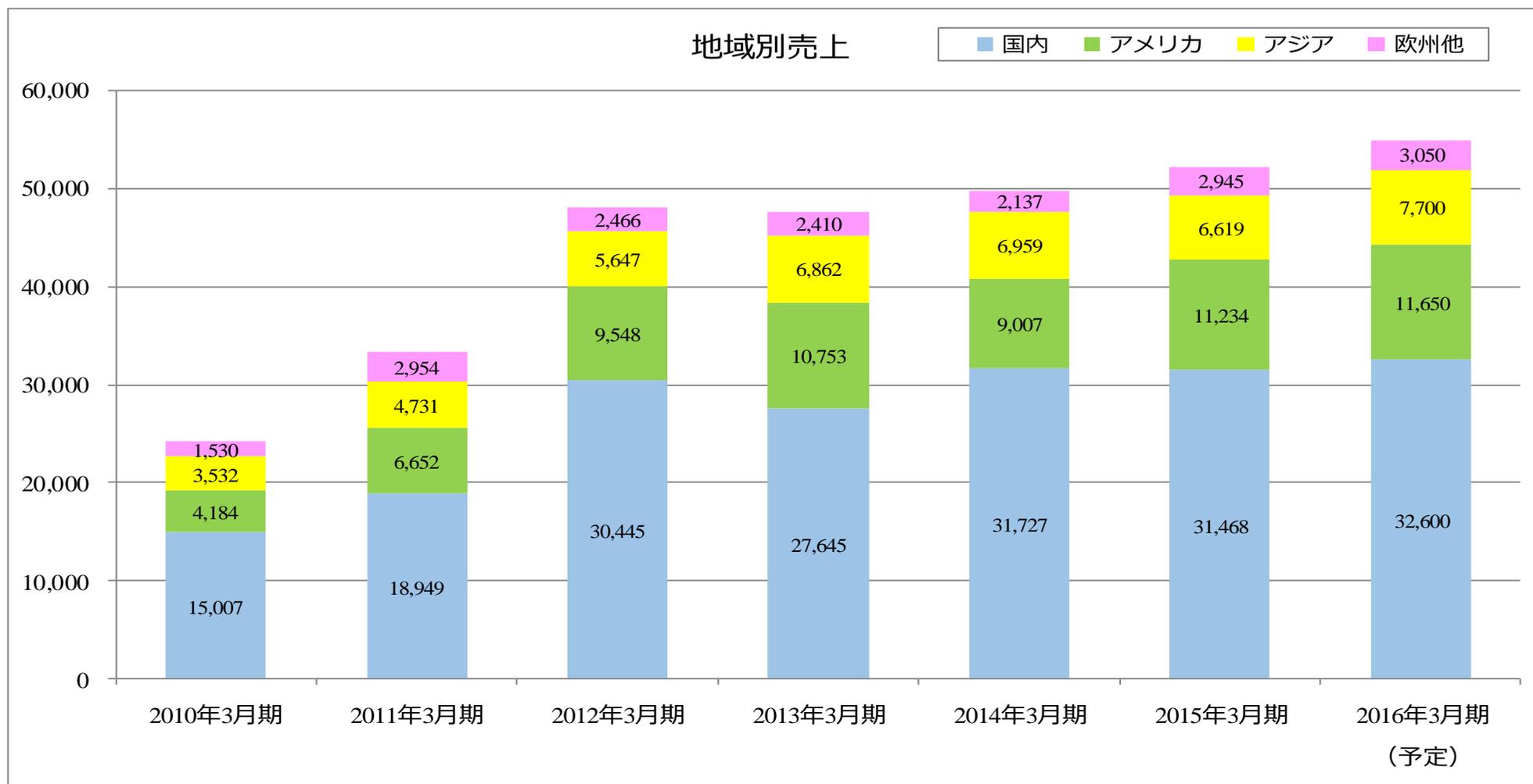


※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販株」(出資比率15.7%)があります。
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

製品別推移と予想



地域別推移と予想



過去30年間の業績の推移

